

B6J Aged 加齢研究

ブーストキャンペーン 24-25

52 週齢以上の B6J Aged マウスご発注について、ご購入匹数の 50% 相当をさらに無料でご提供！

キャンペーン対象

- ✓ アカデミア機関にご所属のお客様

対象系統・規格

- ✓ C57BL/6J-Aged 52 週齢以上
- ✓ 4 匹以上のご購入

期間

- ✓ 2024 年 11 月 1 日～ 2025 年 3 月 28 日 納品分【延長】 6 月 30 日 納品分

申込方法

- ✓ WEB サイトの専用フォーム
https://www.jax.or.jp/news/detail/B6J_Aged_resarch_support_campaign2425
- ✓ 営業担当者 / 代理店担当者
※キャンペーン適用希望である旨をお伝えください



キャンペーン適用例

- ✓ 4 匹（購入）+ 2 匹（無料）= 6 匹（納品）



ご好評につき期間を延長しました！
この機会にぜひご利用ください。

B6J Aged 参考資料



加齢 C57BL/6J マウスを用いた研究

検討、応用、ならびに成功事例

- ✓ マウスはいつ「老齢」になるのか
- ✓ マウスとヒトの生涯の比較
- ✓ 加齢にともなう「正常な」表現型を理解し定義する
- ✓ 高齢 C57BL/6J マウスにおける正常なばらつき
- ✓ 「正常」な表現型を評価する
- ✓ C57BL/6J マウスにおける一般的な加齢関連の健康状態
- ✓ 加齢研究においてさらに考慮すべき事項
- ✓ 再現性に影響を及ぼす可能性がある実験要因



老齢マウスを用いる研究を計画するために必要な 8 つの検討事項

1. 何匹のマウスが必要か？
2. いつ実験を開始すべきか？
3. マウスの健康状態を知ること
4. マウスの個体識別はどのようにしたらよいか？
5. 雌雄差
6. 目的とする研究に最も適した試験方法は？
7. 試験方法の正当化および統計解析
8. 実験のエンドポイントについて検討すること



マウスの研究において遺伝的浮動 (genetic drift) を最小化し、

実験の再現性を最大化するための戦略

- ✓ マウスを使った研究における遺伝的安定性の重要性
- ✓ マウスコロニーにおける遺伝的浮動の出現機序とその頻度
- ✓ 遺伝的浮動が起こった指標：亜系統の命名
- ✓ 遺伝的背景が研究結果に影響を及ぼす
- ✓ C57BL/6 亜系統 / 遺伝的浮動を抑制するコロニー管理の実施
- ✓ 遺伝的背景の検証 / 遺伝的浮動を抑制する高度な方法
- ✓ 欧州および日本のチャールス・リバー（現ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）によって繁殖された JAX™ マウス

販売代理店

生産元

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

〒 222-0033

横浜市港北区新横浜 3-17-6 イノテックビル 11 階

TEL : 045-474-9350 FAX : 045-474-9351

E-mail : ask@jax.or.jp